

特許出願理由通知書

HAZUKI

INTERNATIONAL YOTSUYA

SEP. 21, 2004

特許出願の番号	特願2002-333914
起案日	平成16年 9月13日
特許庁審査官	加藤 隆夫
特許出願人代理人	8204 2M00 亀谷 美明(外 1名) 様
適用条文	第29条第1項、第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から3か月以内に意見書を提出して下さい。

理由

1. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明であるから、特許法第29条第1項第3号に該当し、特許を受けることができない。
2. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項 1
- ・理由 1、2
- ・引用文献等 1
- ・備考

引用文献1には、モニタ本体（「ディスプレイ5」が相当）と、前記モニタ本体を支持するベース部材（「台板21」が相当）と、前記モニタ本体と前記ベース部材との間に介するリンク部材（「アーム4」が相当）と、所定の角度範囲内で前記リンク部材が前記ベース部材の板面に対して回動可能に前記リンク部材の一端と前記ベース部材とを回動可能に連結するベースヒンジ（「第1軸受け部4a、捩じりバネ14、プラケット1」が相当）と、前記ベースヒンジと離隔した

位置で前記リンク部材の他端と前記モニタ本体を相互ティルティング可能に連結するモニタヒンジ（「第2軸受け部4'b、ブレーキ用ネジ1'6、取付け金具6」が相当）と、前記ベース部材に対する前記リンク部材の回動を前記モニタ本体のティルティングに伝達する補助リンク部材（「歯付きベルト1'1」が相当）とを含むモニタ装置が記載されており、本願請求項1に係る発明と比較して、実質的な相違点は認められない。

- ・請求項2-4

- ・理由2

- ・引用文献等1-5

- ・備考

引用文献2（特に図3、7、8を参照）に記載されているように、ベース部材（「底板2'2'1」が相当）を壁等の傾斜面に設けることができるよう、ベース部材に少なくとも一つの係止突起受容孔（「掛孔2'2'4」が相当）を形成した表示装置は公知であり、また一般に表示装置を壁等の傾斜面に設置するために、該表示装置に脱着可能に結合するプラケットを備え、該プラケットに表示装置に形成される少なくとも一つの係止突起受容孔に結合する係止突起部を設けたものは周知であり（例えば引用文献3（例えば図6）、4（例えば第1図）、5（例えば図2'5）を参照）、更にプラケットが該プラケットを前記傾斜面に装着するためには少なくとも一つの第1締結孔を備えたものも周知（例えば引用文献5（例えば図2'5）を参照）であることから、引用文献1に記載された発明において、本願当該請求項に記載されたような傾斜面に設けることができる構成を設けることは、当業者であれば前記公知及び周知の技術に基づいて容易にし得たことである。

- ・請求項5、6

- ・理由2

- ・引用文献等1-5

- ・備考

本願当該請求項に記載された構成は、当業者にとって単なる設計的事項である。

。

- ・請求項7、9

- ・理由2

- ・引用文献等1、6

- ・備考

本願当該請求項に記載された構成は、引用文献6に記載されているように公知である（例えば図7を参照）。

- ・請求項 8、10、16、21

- ・理由 2

- ・引用文献等 1、6、7-11

- ・備考

本願当該請求項に記載のヒンジ部に関する構成は、表示装置における周知のヒンジ機構（例えば引用文献7-11を参照）に基づいて、当業者が適宜設計し得たことである。

- ・請求項 11、12、13、17、18、19、22、23-25

- ・理由 2

- ・引用文献等 1、6、7-14

- ・備考

本願当該請求項に記載の角度制限手段に関する構成は、表示装置における周知の角度制限手段（例えば引用文献12-14を参照）に基づいて、当業者が適宜設計し得たことである。

- ・請求項 14、15

- ・理由 2

- ・引用文献等 1、6

- ・備考

引用文献6には、本願請求項14に記載された構成（図7参照）、及び本願請求項15に記載された構成（図8、12参照）が記載されている。

- ・請求項 20

- ・理由 2

- ・引用文献等 1、6

- ・備考

本願請求項20に記載された構成は、引用文献1（図1参照）に記載されている。

- ・請求項 26-28、30

- ・理由 2

- ・引用文献等 1、6、7-18

- ・備考

本願当該請求項に記載の補助リンク機構に関する構成は、表示装置における周知の補助リンク機構（例えば引用文献15-18を参照）に基づいて、当業者が適宜設計し得たことである。

- ・請求項 29

- ・理由 2
- ・引用文献等 1、6、19

- ・備考

本願請求項 2 9 に記載された構成は、引用文献 1 9 に記載されているように公知である（図 1、2 を参照）。

引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開平11-095866号公報
2. 実用新案登録第3068198号公報
3. 特開2000-206901号公報
4. 特開平01-273086号公報
5. 特開2000-019981号公報
6. 特開2000-242363号公報
7. 特開平08-234672号公報
8. 実願平03-017022号（実開平04-107284号）のCD-ROM
9. 特開平08-121009号公報
10. 特開2001-202026号公報
11. 特開2001-241427号公報
12. 特開平11-006520号公報
13. 特開2000-122561号公報
14. 特開平04-198979号公報
15. 特開2001-142407号公報
16. 特開平04-155375号公報
17. 特開平05-097098号公報
18. 特開平10-214034号公報
19. 特開昭57-151990号公報

先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した分野 I P C 第 7 版 G 0 9 F 9 / 0 0 - 9 / 4 6 ,
G 0 6 F 1 / 0 0

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第一部ナノ物理(ナノ光学) 加藤隆夫

TEL. 03(3581)1101 内線6221

FAX. 03(3592)8858

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS

IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

FADED TEXT OR DRAWING

BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

SKEWED/SLANTED IMAGES

COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

GRAY SCALE DOCUMENTS

LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.